

第 2 回 津川警察署協議会開催概況			
開催日時	平成 23年 9 月 26日 (月) 午後 1 時から午後 5 時まで		
開催場所	津川警察署会議室 交通部交通機動隊		
出席者	委 員 (定数 5 名)	長谷川委員 江部委員 齋藤委員 松原委員	計 4 名
	警 察	椿署長 小林次長 警務課長 地域課長 高野刑事生活安全課長 交通課長 警備課長	計 7 名
議 事 概 要			
<p>第 1 警察施設の見学 協議会開催前に交通部交通機動隊において、訓練状況等の視察・見学を行った。</p> <p>第 2 津川警察署管内の治安概況 署長から平成 23年 8 月末現在の治安概況について説明を受けた。</p> <p>1 刑法犯等認知・検挙状況 刑法犯認知件数 40件 (前年比 - 24件) 刑法犯検挙件数 19件 (前年比 - 8件)</p> <p>2 少年犯罪認知・補導状況 認知件数 3件 (前年比 + 1件) 補導人数 3人 (前年比 ± 0人)</p> <p>3 交通事故発生状況 人身事故 32件 (前年比 + 15件) 死者数 0人 (前年比 ± 0人) 傷者数 46人 (前年比 + 26人)</p> <p>4 山岳遭難発生件数 発生件数 2件 (前年比 - 1件)</p> <p>第 3 業務重点推進項目の推進状況 署長から、県警が推進中の『安全・安心にいがた』推進計画に基づいた津川警察署の取組状況等について説明を受けた。</p> <p>1 犯罪の起きにくい社会づくりの推進 的確な犯罪情勢の分析と情報発信活動の推進 刑法犯認知件数 (40件) の内訳 ・ 窃盗犯 29件 (前年比 - 18件)</p>			

- ・ 暴行・傷害 3件(前年比 ±0件)
- ・ 器物損壊 3件(前年比 -7件)
- ・ 占有離脱物横領 2件(前年比 +1件)
- ・ その他 3件(前年比 ±0件)

きめ細やかな情報発信のための重層的なネットワークの整備

ア 阿賀町情報ネットワーク(テレビ電話)を活用した防犯広報等の情報発信

イ 「犯罪と少年補導」「阿賀町だより」等の各広報誌、その他各種会合等を通じた犯罪発生状況などの情報提供

社会の規範意識の向上並びに少年非行・保護総合対策の推進

ア 社会の規範意識の向上

「高い規範意識と強い絆」を合い言葉に、各種警察活動を通じたモラル、マナー違反行為等に対する指導警告、注意喚起の実施

イ 防犯教室・非行防止教室等の開催

学校警察連絡協議会等を通じた各種啓発活動の推進

小・中学生の社会科課外授業を通じて、命・絆の大切さの訴え

防犯ボランティア活動の活性化等による社会の絆の強化

ア 盗犯防止対策(「6・9(ロク)」の日)の推進

無施錠率が大幅に改善

毎月6日・9日を盗難被害防止『6・9(ロク)の日』に継続指定

イ 自主防犯活動の促進等

事業所、職域防犯団体等と連携した防犯訓練等の働き掛けや支援の実施

管内の金融機関等で強盗模擬訓練を実施

ウ 安全・安心まちづくりの推進

「阿賀町安全・安心大会」への全面的な協力

子ども・女性・高齢者を犯罪から守るための諸対策の推進

ア 子どもの安全対策

関係機関等の公用車へ「防犯パトロール協力車」のステッカー貼付による防犯広報活動

イ ストーカー・配偶者暴力事案への対応

関係機関と連携した迅速な対応と保護対策の実施

ウ 高齢者の防犯対策

関係機関等と協働した高齢者世帯に対する防犯情報の周知

巡回連絡等を通じた防犯診断等の推進

高齢者虐待事案への積極的な対応

振り込め詐欺撲滅のための予防対策の推進

ア 阿賀町テレビ電話を通じての被害防止の呼び掛け

イ 金融機関等へ被害防止広報により詐欺被害を防止

ウ 水害被災後における「融資保証詐欺」等の防犯チラシの作成・配布

2 悪質・重要犯罪、組織犯罪の徹底検挙

悪質・重要犯罪、重要窃盗犯罪の徹底検挙

- ア 悪質・重要犯罪
 - 重要犯罪の発生なし
 - イ 重要窃盗犯捜査の強化
 - 重要窃盗犯罪～侵入窃盗 7件発生
 - 広域窃盗犯の検挙に向けたよう撃体制の確立
 - ウ 悪質な環境事犯の取締り
 - 廃棄物処理法違反 7件検挙
 - 暴力団等反社会的勢力への対策の推進
 - ア 新潟県暴力団排除条例への適切な対応
 - 6月24日付けで阿賀町暴力団排除条例が施行
 - 条例の実効化に向けた各種施策の実施
 - イ 暴力団等の壊滅・弱体化に向けた取組の推進
 - ウ 銃器・薬物対策の推進
- 3 交通事故防止対策の推進**
- 交通死亡事故を抑止するため
- 高齢者の交通事故防止
 - 歩行者及び自転車の安全確保
 - シートベルトとチャイルドシート着用の徹底
 - 飲酒運転の根絶
- を重点とした事故防止活動を引続き推進中
- 高齢者対策
- ア 関係機関等との連携強化による高齢者対策の実施
 - 関係機関等と連携した高齢者交通安全教室を実施
 - 巡回連絡等を通じた高齢者世帯に対する訪問指導の実施
 - イ 街頭活動の強化
 - 夕暮れ時の赤ランプ作戦等の街頭活動の強化
 - 交通指導取締りの強化
 - ア 制服警察官による重点的な警ら、多目的検問などを実施
 - イ 新潟・福島豪雨による甚大な被害発生への対応
 - ウ 速度超過、信号無視などの交通違反を検挙
 - 安全安心に向けた安全施設の整備と規制の見直し
 - ア 地域住民、一般ドライバーの目線に立った規制の見直し
 - イ 住民要望に応じた安全施設整備の充実
 - 県道津川室谷線の歩道整備計画の進捗
 - 西川小学校入口交差点への信号機の移設を検討中
 - ウ 新潟・福島豪雨対策
 - 国道49号の阿賀町大牧地内に公安委員会管理の信号機を設置
 - 国道459号の阿賀町日出谷地内に公安委員会管理の信号機を設置
- その他
- 阿賀町・安全運転管理者協会と協力し「交通安全七夕作戦」の実施
 - 交通安全七夕飾り
 - 交通機動隊の白バイの展示

保育園児が扮する「ちびっ子白バイ隊員」

4 テロ・災害等緊急事態対策の推進

テロ等の未然防止

ア 重要施設等の警戒警備の徹底

イ 管内実態掌握活動の強化

災害に対する各種対応

福島・新潟豪雨に際しては、拳署態勢で

孤立世帯に対する県警ヘリによる救助活動

道路陥没や土砂崩れによる通行止めに伴う各種活動と広報等

停電による信号機滅灯時の緊急措置

被災地域への警戒警備

避難所への立ち寄り

等の災害対応に当たり、住民の安全・安心を確保

5 県民の相談・要望への誠実な対応

相談業務の確実な管理と迅速的確な措置

相談件数 215件（前年比 + 44件）

関係機関との情報交換・連絡体制の確立による相談対応体制の強化

個人情報保護に配慮しつつ、関係機関と連携しながら対応

第4 諮問事項

今回報告を受けた各項目と推進内容についてさらに推進するべく、継続実施について諮問を受けた。

第5 答申

署長の諮問に基づき、津川警察署協議会として協議検討した結果、諮問どおり推進するよう答申した。

第6 要望、意見等（印は署長からの説明）

1 水害で国道49号がきりん橋から黒岩パーキングまでの区間が通行止めとなり、混乱しましたが、その判断はどこがするのか。

国道の通行止め、通止区間の判断をするのは、国道を管理する国交省です。

災害発生時、その判断ができる国交省の係員が現場にいなかったため、混乱したものと思います。現場には、私以下署員が行きましたので、県・国の担当者には連絡をしております。

2 鍵を掛けても盗難被害に遭うのか。

鍵を掛けても泥棒に入られることはありますが、鍵を掛けていれば、家に侵入するのに時間を費やすので被害に遭う可能性は低くなります。

3 三川地区はお年寄りが多く鍵を掛けない人が多い。知らない人が堂々と家に入って行くこともある。

鍵を掛けなかった場合、家の中で侵入した犯人と出会った際に殴られたり、凶器で刺されるなどして強盗事件に発展することもあります。鍵掛けは有効な防犯対策ですので、今後も鍵掛けの徹底を広報して参ります。

4 水害時、川の水が溢れて麒麟山温泉内を車が通れなくなった。水が引き車が通るようになった時、駐在さんから交通整理をしてもらい、大変助かった。

大雪、水害時の警察の対応は頼もしく感じたし、白バイやパトカーを見て運転者は注意し携帯電話を止めたりするので、パトカーが活動するだけで違うと思う。

今後も住民の皆さんの安全・安心を守るために、災害警備や街頭活動の強化に努めてまいります。